【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和6年3月11日(2024.3.11)

【国際公開番号】WO2023/276533
【出願番号】特願2023-531724(P2023-531724)
【国際特許分類】
H01G 4/228(2006.01)
H01G 2/02(2006.01)
H01G 4/32(2006.01)
【FI】
H01G 4/228 J
H01G 2/02 101E
H01G 4/228 B
H01G 4/228 G
H01G 4/228 S
H01G 4/32 305
H01G 4/32 531

【手続補正書】
【提出日】令和5年12月8日(2023.12.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
底面に対向する位置に開口が形成され、側面に貫通孔が形成されたケースと、
前記ケースに充填される封止樹脂と、
前記ケースに収容される１つまたは複数のコンデンサと、
前記コンデンサの電極に接続されるコンデンサ接続バスバーと、
前記貫通孔に位置決めされ、第１端部が前記ケースの内部に位置し、第２端部が前記ケースの外部に位置し、前記第１端部を前記コンデンサ接続バスバーに接続した端子バスバーと、
を備え、
前記コンデンサ接続バスバーは、少なくとも一部が前記ケースの前記開口から前記底面に向かって傾斜して前記端子バスバーの前記第１端部と接続する接続部、を有する、
コンデンサモジュール。
【請求項２】
前記接続部は、前記第１端部と面接触する接触部と、前記接触部に対して前記端子バスバーから離れる方向に延びる延在部と、を有する、
請求項１に記載のコンデンサモジュール。
【請求項３】
前記延在部は、前記端子バスバーから離れるにつれて板状の前記接触部が延びる平面との間隔が広くなる形状、を有する、
請求項２に記載のコンデンサモジュール。
【請求項４】
前記接続部は押さえ部とばね部とを有し、
前記端子バスバーの前記第１端部は、前記押さえ部と前記ばね部とに挟まれている、

請求項１に記載のコンデンサモジュール。
【請求項５】
前記押さえ部は前記ケースの開口側にあり、前記ばね部は前記ケースの底面側にある、
請求項４に記載のコンデンサモジュール。
【請求項６】
前記端子バスバーの前記第１端部は、前記ケースの前記底面から前記開口に向かって傾斜して延びており、前記押さえ部は、前記ケースの前記開口から前記底面に向かって傾斜して延びている、
請求項４または５に記載のコンデンサモジュール。
【請求項７】
前記接続部と前記端子バスバーの前記第１端部とは、溶接により接続されている、
請求項１に記載のコンデンサモジュール。
【請求項８】
前記ケースは、前記貫通孔よりも前記底面側に、前記端子バスバーの前記第１端部を配置する土台部を有する、
請求項１に記載のコンデンサモジュール。
【請求項９】
前記土台部は、前記貫通孔を挟んで配置され、前記貫通孔に向かって傾斜するスロープを有する、
請求項８に記載のコンデンサモジュール。
【請求項１０】
前記貫通孔は、第１貫通孔および第２貫通孔を含み、
前記コンデンサ接続バスバーは、前記コンデンサの一方の電極に接続される第１コンデンサ接続バスバーおよび前記コンデンサの他方の電極に接続される第２コンデンサ接続バスバーを含み、
前記端子バスバーは、前記第１貫通孔に位置決めされる第１端子バスバーおよび前記第２貫通孔に位置決めされる第２端子バスバーを含む、
請求項１に記載のコンデンサモジュール。